北海道倶楽部
毎月１回１日発行 定価８０円
公益社団法人北海道倶楽部
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 北海道東京事務所1 階
TEL 03-3581-4021 FAX 03-3581-4022
E-mail hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp
http://www.hokkaido-c.or.jp/

We Love Hokkaido 北海道 "NOW" KITAKARA

北海道情報紙 知らないこと いっぱい！！

HOKKAIDO CLUB SINCE 1927

創設百年事業に工夫を！

2026年巻頭言 会長 川村 隆



明けましておめでとうございます。

昨年も前年に引き続き、地震・大雨・酷暑などの災害に苦しめられた一年でありました。今年は、災害につきましても穏やかな年にしてくださいと神に祈る気持ちです。

さて、わが北海道倶楽部もあと1年余りで創設百周年を迎えます。新渡戸稲造さん達が1927年（昭和2年）に創立され、①東京近辺に住む北海道出身者・縁故者の親睦を深め、②故郷北海道の開発発展に何らかの貢献をするということを目標にこれまで活動を続けて参りました。

親睦に関しては、新年交礼会や夏8月、秋10月の交流イベントなどを中心に、また本広報誌「北海道NOW」の広域配布などにより、会員相互また関係者の交流を図って参りました。②開発発展に関しましては、東京での講演会開催等により、例えば、日本の半導体開発の大切な一翼を担う「ラピダス社」の状況を小池社長自らにお話しいただくとか、北方領土問題という大懸案事項をも考慮しながら、日本とロシア国との長い歴史的な因果関係を紐解く講演を北海道新聞社からお話いただく会も開催する等の工夫もしてまいりました。

更に、北海道の今後を左右する重要項目としては、農林水産業と観光産業があります。

国土の22%を占める北海道での農林水産業の重要性はいうまでもありません。昨今は、農業でも自然漁業でも養殖漁業でも、養殖林業でも、これら世界的な気候変動の大影響に晒されています。大学（北大や帯広畜産大等）と企業とが協業して対応策を共同研究するのを北海道倶楽部として側面支援することも大切です。

また、観光業においては、北海道の自然景観だけではなく、製造業や養殖漁業などにも関心があることも多く、事業見学において迄もリピーターが登場したりもするようです。

来年に開催を予定しております当倶楽部の創立百年祭におきましては、北海道NOWの記事や各種講演会の中の重要部分の引用は勿論ですが更に、北海道のこれまでの発展と今後の方向性も見られるよう工夫する予定です。

ご期待ください。

北方領土行進に倶楽部から５人

早期返還 訴える

北方領土の早期返還を求める、恒例の北方領土返還要求中央アピール行進が12月1日、東京駅周辺で行われ、北海道倶楽部からも川村隆会長、有末真哉副理事長ら5人が参加、「1日も早い領土返還を」と訴えた。

根室管内の1市4町でつくる北方領土隣接地域振興対策根室管内市町村連絡協議会（北隣協）の主催で、国会議員や、各都道府県の運動関係者ら約500人が参加。鈴木直道知事らも行進の列に加わった。

中央区・銀座で行われた出発式で、根室市の石垣雅敏市長は「戦後80年が過ぎ、元島民の7割が死亡。平均年齢も89歳を超えた。ロシアのウクライナ侵攻で日ロ交渉はストップしたままだが、一刻も早く交渉再開を」などとあいさつ。

元島民を代表して歯舞群島多楽島出身の工藤繁志さん（86）＝根室市＝が「他界した同胞の無念を思い、力強く行進したい」と決意表明した。

この後、京橋公園ー東京駅ー常盤橋公園の約2キロのコースを「島を返せ！」などシュプレヒコールを繰り返しながらデモ行進。道行く市民に北方領土交渉の早期再開をアピールした。

この日、高市早苗首相は行進に参加した根室管内1市4町の首長や鈴木知事と官邸で面会。首相は停滞する領土交渉の現状に、「誠に遺憾。政府として重く受け止めている」と述べるにとどまった。

川村隆会長は「会員が積極的に動いてほしい。待っているだけではだめだ」と述べた。

また、27年の倶楽部創設100周年を踏まえ、寄付金の募集を開始する。記念事業については、会報などを通じて会員の意見を求めるほか、各部会提案などを検討し、理事会で決定する。

26年度予算、事業計画は、25年内に所管官庁の内閣府に提出された。



行進を前に張り切る川村会長（左から2人目）、有末副理事長（左端）



「領土を返せ」と訴える有末副理事長（右端）ら



明けましておめでとうございます。
みなさまのご多幸を祈ります。
2026年（令和8年）元旦
公益社団法人北海道倶楽部

2026年度予算1454万円余に

12月の合同会議で決定

北海道倶楽部の理事会・評議員会の合同会議が12月18日、事務局会議室で開かれ、2026年度（令和8年度）予算などを決めた。3月11日、開催予定の定時総会で報告される。

26年度予算は、公益事業会計、法人会計合わせて収入1454万円余りを計上。25年度予算を14%下回った。会費や会員名簿作成に伴う広告が主な収入源となっている。

支出は事業費、管理費の合計で、前年度比18%減の1385万円余。給料手当の減少、交流イベントの会場変更などが主な要因。この結果、68万円余の黒字予算となった。

一方、事業計画はこれまでの交流イベント（10月）など公益事業や、北方領土返還運動など従来から倶楽部が取り組むキャンペーンを踏襲、促進する。

会員減少対策にも本腰を入れる考え。川村隆会長は「会員が積極的に動いてほしい。待っているだけではだめだ」と述べた。



２０２６年度予算などを話し合う合同会議

★北海道倶楽部会報は、北海道新聞社から記事、写真の協力を得て、作成しています。

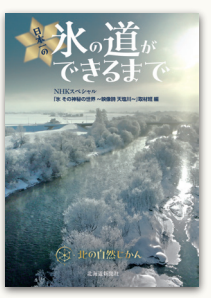
新入会員 正会員

▼深澤 祐二氏（東日本旅客鉄道株式会社 取締役会長）函館市出身

1月30日に新年交礼会

北海道倶楽部の新年交礼会は1月30日（金）午後6時から、ホテルニューオータニで開かれる。会費は1人1万5000円、会員外の参加も可。

ふるさとの本ご案内 北海道新聞社



北の自然じかん NHKスペシャルを書籍化!
日本一の氷の道ができるまで
NHK スペシャル
「氷 その神秘の世界～映像詩 天塩川～」取材班 編
B5判 64頁 定価1760円
北海道北部を流れる天塩川を舞台に、全長100kmを超える長大な「氷の道」ができるまでのメカニズムを貴重な画像とともに解説する。
＜小学校高学年から＞

わたしの百人の祖父母たち
北方領土・元島民の肖像
写真・文 山田淳子
A5判 192頁 定価2750円
北方領土元島民3世の著者による写真ルポ。100人の元島民を訪ね歩き、島で過ごした幼少期の記憶をポートレートとともに焼き付けた。(解説＝小泉悠)



北海道新聞社出版センター 〒060-8711 札幌市中央区大通東4丁目1
TEL 011-210-5744 受付 9:30～17:30 (土日・祝日を除く) 価格は税込
出版センターにお電話いただければ直接手配もいたします(代引き・送料別途)
お求めは書店またはインターネットで

新年交礼会 令和8年1月30日（金）午後6時 ホテルニューオータニ 申込はHPをご利用下さい。重複申込可。

函館

ホテル朝食に「体験型」

シェフと競りに出向くことも

その土地ならではの「特別な時間」提供

シェフとセリに出向いたり、食材をガチャ方式で仕入れたり…新鮮な海産物が売りの函館のホテル朝食バイキングで、こんな動きが徐々に広がっている。観光客の価値観が多様化する中、各ホテルがその土地ならではの「特別な時間」の提供を目指す試み。宿泊客の人気も上々だ。

函館市のニッポニアホテル函館港町（豊川町）は、2022年から宿泊客がシェフと市場を巡るプランを始めた。早朝に近くの市場などを見学、その後市場内の鮮魚店で食材を選ぶ。午前9時からのホテルでの朝食には、通常のメニューに加え、宿泊客が選んだ食材がプラスされる仕組みだ。

料金は1泊2食付き8万4520円（大人2人、1室利用）とやや高めながら、このプランを選んだ東京からの観光客は「地元ならではの体験がしたかった」と満足そう。これまでに約80組が利用しているという。

どんな素材が手に入るか分からない、ドキドキ感が楽しめる「プログラム」も。ホテルリソル函館（若松町）は函館朝市の商店と連携、宿泊プラン「旬の海鮮ガチャプラン」を今年9月から販売している。

宿泊客がチェックイン時に「海鮮ガチャ引換券」を受け取り、翌朝、コラボしている商店を訪問。何が当たるか当日まで分からない「ガチャ」方式で、その日に仕入れたばかりの海産物1品と交換できる趣向だ。

持ち帰った食材はホテルの朝食会場で、シェフが炭火焼きで調理してくれる。料金は1泊朝食付で7000円から。


シェフとともにカニを品定めする観光客（北海道新聞社提供）

体験型朝食の広がりの背景には、函館を訪れる観光客が順調に増えていることがある。市によると、24年度の観光客数は602万2000に上り、統計が残る1955年以降で最多。市内の主要27ホテルの宿泊数は、4～9月のいずれも前年同期を上回った（日銀函館支店）。

約6割は道外からといい、JTB北海道事業部函館サテライトの担当者は「その土地ならではの学びや体験に価値を見いだす風潮が強まっている」と分析し

秋まき小麦　新品種に転換

病気に強いなどメリット

ホクレン（北海道倶楽部会員）は、2029年度から製粉メーカーなどに販売する秋まき小麦の主力品種「きたほなみ」を、後継の「きたほなみR」へ全面的に切り替える。コムギ縞（しま）萎縮病に強いことが特徴。生産量が安定し、消費者への安定供給につながるメリットがある。

きたほなみの作付面積は、道内の小麦全体の7割を占める。道によると、直近の23年度は約9万ヘクタール。「ゆめちから」（約2万1000ヘクタール）など、他品種を大きく上回り、うどんなどに加工されている。

ただ、土壌中のウイルスが原因の縞萎縮病に弱いことが課題だ。このため、北見農試が12年から人工交配を進め、「きたほなみR」が誕生。今年2月、道が優良品種に認定した。「R」は抵抗・耐性を意味するレジスタンス（resistance）の頭文字。

現在、道内各地で試験栽培が進んでいるが、道内産小麦の大半を集荷・販売するホクレンは、生産者に新品種への切り替えを推奨。農家も同意しているという。28年産で約1500ヘクタールを置き換え、29年産は全て「R」に転換する計画だ。

弱点の病気に強くなることで、ホクレンの担当者は「消費者に安定的に届けられるようになる」とアピールしている。

令和8年年頭所感

北海道知事　鈴木　直道



新年明けましておめでとうございます。

昨年を振り返りますと、戦後80年を迎える中、北方領土の早期返還に向け、全国で署名活動を展開しました。皆様からも温かいご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。今後も粘り強く返還運動に取り組んでまいります。

また、長引く物価高により、道民の皆様の生活や事業者の方々の経営が厳しい状況にある中、累次の経済対策を実施するとともに、津波避難対策やヒグマ対策の強化、諸外国の政策変更によるグローバルリスクなど、様々な課題やリスクに対応してまいりました。

北海道新幹線の札幌開業延期は大変残念なことでしたが、皆様の継続的なご協力を非常に心強く思っています。引き続き、早期開業に向け取り組んでまいります。

一方、道庁赤れんが庁舎がリニューアルオープンし、多くの方に訪れていただいています。また、どさんこプラザの売上が過去最高となるなど、北海道の食を広く発信しました。

さらに、ラピダス社が次世代半導体の基幹部品の試作に成功し、アジア最大級のAIデータセンターが着工となり、松前沖と檜山沖が道内初の洋上風力発電の促進区域となるなど、これまでの挑戦が着実に具現化しています。

今、国は、経済、食料、エネルギーの安全保障に対し戦略的に投資する方針を掲げていますが、こうした分野で我が国をリードできるのが北海道です。新しい年は、この追い風を捉え、道民の皆様の命と暮らしを守ることを最優先としつつ、本道の存在感を一層高めたいと考えています。

半導体やデータセンターといった産業の振興・集積をトリガーに、北海道を実証フィールドとしてAIを活用した政策を積極的に推進し、その効果を全道に波及させてまいります。また、農林水産業の生産力向上と持続的発展の両立に取り組み、宿泊税を有効に活用し、観光の高付加価値化や受入体制の充実強化等に取り組みます。

本道の成長に向け灯してきた希望の種火を大きく育て、北海道を新たなステージに押し上げていくため全力で取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が、皆様にとりまして大きな飛躍の年になりますよう心より祈念し、新年のご挨拶といたします。

ラピダスに1兆円の金融支援

2026～27年度　経産省決定

経済産業省は、千歳市で次世代半導体の量産を目指すラピダス（東京）に2026～27年度、計約1兆円の金融支援を決めた。これにより量産実現に必要な巨額の資金調達を後押しする。同社は27年度後半の量産開始を目指す計画だ。

政府は本年度中にまず、1000億円を出資。その際、窓口となる経産省所管の独立行政法人が、ラピダスから「黄金株」1株を受ける。取締役の選解任や株式譲渡など経営の重要事項に拒否権を持つ株式だ。

同省は併せて今後の支援方針も提示。それによると、26年度も1500億円程度を出資、ラピダスの量産開始前後には、政府機関所有となっている工場や設備を現物出資の形で同社に渡す。

金融支援とは別に、26、27年度には研究委託費計約9300億円を投じるという。

26年度以降の支援は、ラピダスが提出した実施計画の進捗を定期的に確認し、決定する考え。政府が投じる総額は、少なくとも3兆円規模に上る見込みだ。

赤沢亮正経産相は「国益のため必ず成功させなければならない国家的プロジェクト。引き続き全力で取り組む」と語った。

実施計画によると、27年度後半に回路線幅2ナノメートル（ナノは10億分の1）級半導体の量産を始める。必要資金は7兆円超に上り、官民の出融資で賄う方針。ラピダスの小池淳義社長（北海道倶楽部会員）は「着実に量産を実現し、国の成長戦略の一助となるよう全力を尽くす」とコメントした。

企業版ふるさと納税　北洋、道銀が仲介

北洋銀行と北海道銀行（いずれも北海道倶楽部会員）が、企業から道内自治体への寄付「企業版ふるさと納税」を仲介する取り組みに力を入れている。銀行の顧客網を生かし、仲介契約を結んだ自治体を企業に紹介。約2年で計24件の寄付につなげるなど、企業と自治体の関係強化を支援している。

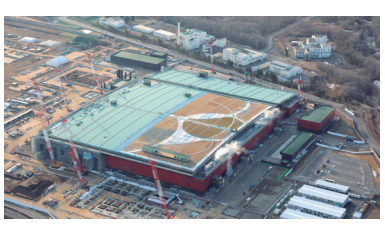
企業版ふるさと納税は、国が認定した自治体の地方創生事業に企業が寄付すると、法人税などが最大9割控除される仕組み。銀行の仲介で寄付が実現した場合、自治体は一定の手数料を銀行に支払うことになっている。

北洋銀行は2024年5月以降、72自治体と契約。8自治体への17件の寄付を仲介した。寄付した8社中、5社が道外企業で、同行は「道内への資金を呼び込む流れをつくりたい」。

道銀の仲介は23年12月からスタート、60市町村と契約した。道内外の7社から6自治体への寄付があった。寄付金は本庁舎の建て替えや、子育て支援などに充てられているという。

道銀の仲介で3月、宗谷管内礼文町の漁業支援事業に1000万円を寄付した、札幌の水産卸売業者は「銀行の提案があったからこそ、水産業に恩返しをしたいというわれわれの思いを形にできた」と話した。

道内全体の24年度企業版ふるさと納税の寄付件数と寄付額は、制度が始まった16年以降で最多の1792件、45億7790万円。両行とも制度の周知が課題と見て、今後も仲介活動をに注力、地域活性化に貢献したい考えだ。


千歳市に建設中のラピダスの施設（北海道新聞社提供）

北海道新聞社の本

★ニャンと楽しい北海道歳時記
さとうもえ　作／松本麻希　絵　四六判　160頁　定価1430円
北海道四季折々の行事や暮らしを、かわいいイラストで紹介。案内役は、本州から北海道に引っ越してきたねこの仲間たちです。



★ポポときいろのたび
作・画　アトリエポポ　A5判　32頁　定価1870円
おやつ作りが得意な妖精のポポが、北海道にすむ森の動物たちと繰り広げる小さな冒険物語。お菓子のアートが作り出すリアルファンタジー絵本。

★記者がたどる戦争
北海道新聞社　編　四六判　360頁　定価1980円
戦後80年に合わせた長期連載企画の単行本化。若手を中心にした記者が、肉親などの証言をもとに、55件・107本の記事で戦争の実相に迫る。

首相の台湾有事答弁 道内にも影響じわり

中国路線に運休、減便相次ぐ

台湾有事を巡る高市早苗首相の国会答弁で、日中関係が冷え込む中、新千歳空港では中国路線に運休や減便が生じるなど、徐々に影響が出てきた。昨年11月から今年3月までの5カ月間で3万～5万人の旅客減が見込まれている。

札幌のホテル中国人客のキャンセルも

新千歳空港と中国各地を結ぶ中国の航空会社は、四川航空、中国国際航空など6社、5路線。北海道エアポート（HAP）によると、新千歳空港で24年11月～25年3月に中国発着便を利用した旅客数は約35万人に上った。



札幌を代表するイベント「さっぽろ雪まつり」。今年は中国人が減るかも・・・（北海道新聞社提供）

首相答弁を受けて、中国政府は国民に日本への渡航自粛を呼びかけており、その影響はじわじわと。減少分は全体の1割程度と他の空港に比べ限定的だが、今後、拡大する可能性があるという。

HAPは今後の影響について「見通せない」としつつも、リスク分散のため引き続き東南アジアなどの路線誘致に力を入れていく考えだ。

道内の観光地では、中国人の宿泊キャンセルが出始めた。札幌市内のホテルは「1日数件、宿泊予約のキャンセルが入りだした。今後どうなるか不安だ」と話した。函館市内のホテルは「本来なら春節を前に予約が増える時期なのに」。

道によると、24年度に北海道を訪れた中国人は訪日客全体（2282万人）の約16%に当たる46万3000人。韓国、台湾に次いで3番目に多かった。

2月5日に札響東京公演 倶楽部会員は割引きも

札幌交響楽団（札響）恒例の東京公演が2月5日（木）午後7時（開場同6時半）から、東京・港区のサントリーホールで開かれる。



東京公演をPRする札響のパンフ

指揮は札響首席指揮者のエリアス・グランディ。武満徹の「ア・ウェイ・ア・ローンII」、マーラーの「さすらう若人の歌」、リヒャルト・シュトラウスの交響詩「英雄の生涯」での3作品を演奏する。

北海道倶楽部会員向けに特別価格を設定。S席6500円（通常7500円）、A席5500円（同6500円）などと、割引される。問い合わせは札幌交響楽団（☎011・520・1771）へ。

道内も二季化？春秋が消える！

夏の長さ、42年間で4週間も長く

北海道の夏が1982～2023年の42年間で、約4週間長くなっていたことが、三重大学研究グループの調査で分かった。地球温暖化に伴う海水温の上昇が、主な原因。冬の長さに大きな変化はないものの、春と秋が短縮、四季から春と秋が消える「二季化」が急速に進んでいる。

研究グループは、気象庁の観測データを基に、日本列島と周辺海域を約200区画に分けて各地域の気温変化を分析。

このうち北海道に該当する15区画のデータを使って算出した結果、23年の道内の夏は6月7日～10月5日の121日間に。42年間で夏の始まりは18・9日早まり、終わりは267・6日遅くなった。期間は147・7日間伸びたという。こんな傾向は全国も同様で、平均21・4日間増加していた。



10月でも日傘が手放せない札幌市内（北海道新聞社提供）

一方、日本列島はシベリアから流れ込む寒波の影響を受けやすく、冬の日数には大きな変化は見られなかった。

夏の長期化は、住民の健康面への影響も。札幌市消防局によると、2023年の同市内の熱中症による搬送者は562人に上り、10年以降で過去最多を記録。昨年はさらに593人（速報値）に増えた。

「二季化」の傾向は今後も続く見通し。同大研究グループは「温暖化対策をしなければ、日本から四季がなくなる。元の美しい四季に戻すため、二酸化炭素の削減に真剣に取り組まなければならない」と警鐘を鳴らしている。

三重大査調

鈴木知事 泊再稼働に同意

道議会で正式に表明



道議会で泊原発再稼働に同意の答弁をする鈴木知事（北海道新聞社提供）

鈴木直道知事は12月10日の道議会予算特別委員会で、北海道電力泊原発（後志管内泊村）3号機について、「道民の声や関係自治体の判断などを踏まえ、熟慮を重ねた。この時点で再稼働の方向示すことで、道内での投資促進や雇用拡大につながる」などと述べ、再稼働を容認する考えを正式表明した。

知事が原発再稼働容認への考えを示すのは初めて。泊原発3号機は北電が2027年早期の再稼働を目指しているものの、道民の賛否は割れている。知事は25年内に、国に直接、判断の経緯や地元の要望を伝える。

再稼働容認としたのは、①原子力規制委員会の新規制基準に適合②道内の電力需要の増加見通し③再稼働後の北電の電気料金引き下げ方針ーなどの理由から。原発立地4町村（泊村、同管内共和町、岩内町、神恵内村）は、すでに再稼働容認を表明しており、この結果、すべての判断が出そろった。

立憲民主党道連は「（規制委の合格から）わずか4カ月という短期間での判断はあまりにも拙速。道民の理解と納得が十分に得られていない」との抗議声明を発表。

共産党道委員会も「（原発事故で）北海道全域への甚大な被害を道民に強いる可能性を否定できず、同意は断じてあり得ない」とのコメントを出した。

泊原発3号機は2009年に営業運転を開始、東日本大震災1年後の12年から定期検査で停止している。北電は13年7月、原子力規制委員会に審査を申請し、今年7月、正式合格した。

北海道新幹線事業費

札幌延伸遅れで1兆円超増に 総額は3兆円台半ば

北海道新幹線の新函館北斗ー札幌間の事業費が、現在の2兆3000億円から1兆円超増える見通しであることが、明らかになった。

建設主体の鉄道建設・運輸施設整備支援機構が試算したもので、札幌延伸が2030年度から38年度以降になるなど、工事の遅れが主な要因。

増加後の事業費総額は3兆円台半ばに膨らむ見込みで、建設費の一部を担う地元自治体の増派避けられない。

同区間の事業費見直しは2回目。国土交通省の当初計画では、1兆6700億円だった。

総延長212キロの8割がトンネルの同区間は、軟弱な地質や巨大な岩盤と工事が難航している。

北斗声

▼明けましておめでとうございます。皆さまにとって、「午（うま）」のごとく飛躍の年になることを、願っています。本年も小欄によろしくお付き合いください。

▼日本は多くの難題を抱え、新しい年を迎えました。筆者が最も懸念するのが、昨年来の日中関係の悪化です。ご存知の通り、高市早苗首相の台湾有事を巡る国会答弁に端を発し、中国の怒りはエスカレートする一方です。

▼日本への渡航自粛、再開が期待された水産物の事実上の輸入停止…。そしてついに訓練中の中国軍機が、警戒に当たる自衛隊機にレーダー照射するという「危険水域」にまで発展しました。「くわばらくわばら」です。

▼日本側は、高市首相も小泉進次郎防衛相も「冷静な対応が必要」と大人の姿勢を見せていますが、中国は強硬です。何せ習近平主席を頂点とした権威主義国家ですから。専門家は「正常化には2～3年はかかる」と指摘します。

▼それにしても、と思います。首相に就任したばかりの国会答弁とはいえ、「うっかり本音が出てしまったのでは？」。一国のリーダーの発言は、それほど重いのです。中国人観光客の減少など影響がじわりと広がる中、本人が一番反省しているかもしれません。（北）



倶知安町のご紹介

くっちゃん

「いつまでも住み続けたい町　ぐっちゃん!!」

観光スポット



○鏡沼

ニセコアンヌプリの北東斜面中腹（標高570ｍ）に位置する高層湿原の中にある鏡沼は、おもに雪解け水によって維持されており、沼の対岸にはミズナラ・イタヤカエデ、ホオノキなどの巨木が原生に近い森林として存在しています。

風のない穏やかな日には水面に周辺の景色が映し出され、まさに鏡のような光景になることからこの名が付きました。また、沼には浮島があり、風によって少しずつ移動しています。

鏡沼に向かう主要なルートは２つ。一つは倶知安町花園にあるHANAZONOゴルフコース近くから入る「HANAZONO GOLFルート」、もう一つは道道58号線（倶知安町字花園～五色温泉）沿いから入る「58号ルート」があります。景観などコースそれぞれの特徴がありますので、ルートを変えて散策することもオススメです。

※散策できる期間５月中旬～10月上旬）

※イワオヌプリ・ニセコアンヌプリ周辺にも、クマが生息している可能性がありますので、散策前には事前に目撃情報などをご確認願います。





○倶知安風土館

倶知安風土館は、倶知安周辺の自然や歴史について理解を深めていただくために、２００２年（平成14年）に開館した総合博物館です。

展示エリアは２つの分野で構成されており、「自然展示」エリアでは羊蹄山やニセコ山系、山麓地域の自然について、「歴史展示」エリアでは先史時代から開拓期、そして現在に至るまでの歴史や人々の暮らしについて紹介しています。

開館時間：午前９時から午後５時まで（入館時間は午後４時30分まで）

休館日：火曜日（火曜日が祝日の場合、翌日休館）、年末年始

☎０１３６・２２・６６３１

○小川原脩記念美術館

小川原脩記念美術館は、倶知安町（旧倶知安村）生まれの画家「小川原脩」の作品を多く展示する、２００２年（平成14年）に開館した美術館です。

小川原脩は、東京美術学校（現東京藝術大学）卒業後、前衛画家としての道を歩みはじめます。戦時体制の強化に伴い表現活動への規制が厳しくなったことにより一度は断念しますが、戦後、郷里倶知安に戻り、以後60年間この地を離れることなく創作活動に専念し、60歳を超えてから訪れた中国、チベット、インドで創作への新しい境地を開きました。

美術館では小川原脩の作品のほか、子どもたちの絵画コンクールの作品など多様な作品を観覧できます。

また、様々なアートイベントも実施されていますので、是非お立ち寄りください。

開館時間：午前９時から午後５時まで（入館時間は午後４時30分まで）

休館日：火曜日（火曜日が祝日の場合、翌日休館）、年末年始

☎０１３６・２１・４１４１





倶知安町へのアクセス

URL：https://www.town.kutchan.hokkaido.jp/tourism/access/



市町村から

○イベント情報

・くっちゃんじゃが祭り

毎年８月上旬に開催される「くっちゃんじゃが祭り」は、こどもから大人まで町民が心待ちにしている、倶知安町の夏の風物詩です。

「じゃが百人太鼓」や「じゃがねぶた」、特産品であるじゃがいもの「じゃがいもジャンジャン取り」など様々なイベントが目白押しです。お祭りのフィナーレには、「じゃが音頭」にあわせて、「じゃが１０００人踊り」が行われます。また、閉幕を知らせる「じゃが納涼花火大会」がラストを彩ります。

くっちゃんの食、文化を存分に楽しめる「くっちゃんじゃが祭り」で北海道の夏を感じてみませんか。







・雪トピアフェスティバル

毎年２月中旬に開催される「雪トピアフェスティバル」は倶知安町の冬の一大イベントです。大迫力のスノーモービルチューブ体験や、巨大滑り台など倶知安町の豪雪を楽しむイベントが盛りだくさんです。

また、お祭りにあわせて「雪ダルマコンテスト」が実施されます。この時期になると町内のいたるところで個性豊かな雪ダルマを見かけることができます。





まちづくり

○ふるさと会

「倶知安町にゆかりのある」方で、倶知安町外に住んでいる方と、その近郊に住んでいる方が一緒になって構成しています。

・東京くっちゃん会

関東に在住する「倶知安町出身者及び倶知安町縁故者並びに倶知安ファン」の皆さんで、平成23年から組織されています。

・さっぽろ倶知安会

札幌市および近郊に在住する「倶知安町ゆかり」の皆さんで、昭和35年から組織されています。

倶知安町で開催される「くっちゃんじゃが祭り」に毎年参加されるなど、倶知安町とのつながりを大事に活動されています。

○まちなか循環バス「じゃがりん号」

市街地を東西と南北の２ルートで循環しています。大人は１回１００円で乗車でき、中学生以下は無料です。町内の病院、スーパー、公共施設などに停車します。倶知安町内での移動の際はぜひご活用ください。



ふるさと納税

ふるさと納税の返礼品では、肥沃な大地で育てた農作物のほか、町内に工場を構える道栄紙業のティッシュやトイレットペーパーが大人気です。

・農作物

倶知安町の特産品である「じゃがいも」が大好評をいただいているほか、鮮度の高い朝採りならではのシャキシャキ食感が楽しめるアスパラガスなどの野菜も好評をいただいています。

また、町産野菜を雪の下でじっくりと貯蔵することにより野菜の甘みを引き出した、牛乳や玉ねぎと合わせた「雪の下育ちのくっちゃんポテトスープ」や、バターと合わせた優しい味わいの「雪の下育ちのくっちゃんにんじんスープ」などの加工品も揃えています。

・ティッシュ、トイレットペーパー

「毎日使うからやさしい紙製品」をテーマにし、かさばる消耗品だからこそ、大変な買い物をしなくてもまとめてご自宅へお届けします。生活に必要な日用品として、また、いつ起こるかわからない有事に備える備蓄として人気です。







※掲載されているイベント情報は諸事情により開催日程の変更、中止の可能性があります。ご了承ください。

●お問い合わせ
○倶知安町役場　〒０４４－０００１　北海道虻田郡倶知安町北１条東３丁目３
ＴＥＬ：０１３６－５６－８００１　ＦＡＸ：０１３６－２３－２０４４
E-mail：sousei@town.kutchan.lg.jp
公式ホームページ：https://www.town.kutchan.hokkaido.jp

泊村のご紹介
とまり

「エネルギーのふるさと 泊村」
観光スポット



○鰊御殿とまり

今から350年前、泊村でも鰊漁が始まり、明治時代の全盛期には50を越える鰊番屋が建ち並びました。鰊漁によって莫大な富をもたらした鰊番屋は泊村の繁栄の象徴でもあったと言われています。

当時の繁栄を今に伝える鰊御殿とまりは、2001年（平成13年）に泊村で初めて有形文化財に指定されました。



ため移築・復元されたのが、1894年（明治27年）に親方であった川村慶次郎氏が建てた「旧川村家番屋」と、1916年（大正5年）頃、武井忠吉氏によって建設された「旧武井邸客殿」と付属するレンガ造りの「蔵」で、これらが現在も残されています。

館内は、当時の鰊漁の様子を物語る貴重な資料が展示保存されており、泊村の郷土文化を後世に伝えるための資料館として公開しています。「鰊御殿とまり」

この「とまりリンク」で日々練習を積んでいる「泊ブルーマリーンシャークス」は、後志管内の小学生で結成された泊村アイスホッケーチームです。このチームのOBで、現在は泊村スポーツ大使を務める「レッドイーグルス北海道」の橋本僚選手も、小学生時代はこのリンクで練習を積み重ね、プロのアイスホッケー選手を目指す原動力となったと話しています。

○泊村アイスセンター「とまりリンク」



「とまりリンク」の愛称で親しまれている「泊村アイスセンター」は、1年間を通してアイススケートが楽しめる後志管内唯一の室内リンクです。この施設のリンクは国際競技規則に沿って設計されており、トレーニングルームも完備しているため、道内外の高校や大学、企業などのアイスホッケーチーム、近年ではフィギュアスケートの練習施設としても利用されています。



○とまりカブトラインパーク

泊村には、村の景勝地「カブト岬」や「西積丹カブトライン」を一望しながら楽しめる雄大なパークゴルフ場「とまりカブトラインパーク」があります。泊村役場庁舎裏の小高い丘を整備し、自然地形を活かした27～50m前後の18ホールで、ショートコースの多さが特徴です。季節の花が咲くコースは、豊かな自然が広がり、眺めも最高なコースとなっています。





その他にも、バーベキューハウスや、テニスコート、多目的広場なども整備されており、充実したアウトドアを楽しめます。

泊村へのアクセス

（車をご利用の場合）

	所要時間	距離
札幌から	約２時間	１００km
新千歳空港から	約２時間２０分	１４５km

（公共機関をご利用の場合）

●札幌経由	
新千歳空港から札幌まで	JRエアポート／３６分
札幌（ターミナル発）から岩内（ターミナル着）	中央バス／２時間３０分
岩内（ターミナル発）から泊村（役場）	しおかぜライン／３４分

●小樽経由	
新千歳空港から小樽まで	JR利用／１時間２０分
小樽（ターミナル発）から岩内（ターミナル着）	中央バス／１時間３０分
岩内（ターミナル発）から泊村（役場）	しおかぜライン／３４分

泊村ホームページ
https://www.vill.tomari.hokkaido.jp
アクセス
https://www.vill.tomari.hokkaido.jp/access.html
詳細はこちら→

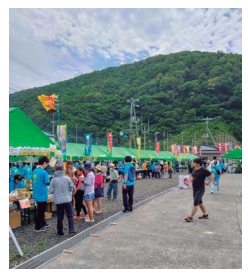
市町村から

○イベント情報

毎年7月の第3土曜日に茂岩海岸で行われる「群来まつり」は、泊村の夏の祭典です。

新鮮な海の幸を堪能できる泊の味コーナーには沢山の出店やキッチンカーが並びます。毎年大好評の泊産ウニをふんだんに使ったウニ丼と、とまりカブトサーモンを使ったサーモン・いくら丼はあっという間に完売となります。祭りのフィナーレを飾るのは、弁天島から打ち上がる花火。迫力満点で、会場が大きな歓声に包まれます。





○特産品

・「とまりカブトサーモン」

約半年間、荒波の中で育てられ、脂も程よく臭みが少ないのが特徴です。



・「とまりカブトホタテ」

小ぶりでも甘みが強く、天然特有の臭味がない食べやすさが特徴です。



○施設情報

泊村では現在、令和8年のオープンに向けて茂岩地区に温泉施設を建設中です。





『カブト』とは、村内の盃地区のカブト分区で養殖されていることから名付けられ、現在、ブランド化を進めています。

日本海を一望できる立地を活かし、大浴場、サウナ、露天風呂、休憩スペース等を完備し、コテージなど宿泊施設も併設予定です。村内外の多くの皆様の憩いの場となる温泉施設を目指し進めています。オープン後は、ぜひ多くの方にご利用いただきたいです。

移住について



泊村では、「ふるさと定住促進事業」として、移住定住支援や子育て支援制度を設けています。

○児童養育奨励金

18歳以下の子どもを養育している保護者へ、毎月1人当たり1万円または1万5千円を支給します。

○賃貸住宅家賃助成金

村内の民間住宅に入居した場合、勤務先から支給されている住宅手当等の控除後の家賃に対し3万円を越える額を助成します。

○住宅新築等奨励金

村内に住宅を新築又は中古住宅購入及び既存住宅を増築又は改修した場合に奨励金を支給します。

・新築：200万円限度（村内業者の場合　300万円限度）

・中古住宅購入：200万円限度

・増築、改修：100万円以上で、その費用の10分の1の額（100万円限度）

○漁業担い手支援事業補助金

村内において新たに漁業に従事する方に補助します。

・漁業担い手定着支援事業：月額5万円

・漁業担い手奨励事業：新規就漁者）10万円、漁業後継者）5万円

その他にも様々な制度が充実しています。なお、申請にはそれぞれ要件がありますので、詳細につきましては村のホームページ等で確認ください。お問い合わせは、泊村役場までご連絡ください。

各制度の詳細はこちらから
←

ふるさと納税

泊村の美味しい特産品を多数取り揃えています。



○とまり産　いくらの醤油漬け　14000円～

日本海の荒波の中で育てられた泊産秋鮭の魚卵の鮮度を保ったまま加工しています。

○泊名産　あまづけうに　22000円～

泊村沖で獲れた新鮮なうにを食塩のみで仕上げました。ご飯にもお酒にも合う1品です。

○とまりカブトサーモン　15000円～

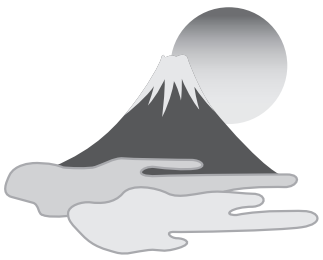
半年間の海面養殖により、脂も程よく臭味が少ないサーモンの鮮度を保ったまま加工しており、刺身ではもちろん、焼いても美味しい「とまりカブトサーモン」です。

詳細はふるさと納税サイトから確認ください。

「さとふる」はこちら↑

※掲載されているイベント情報は諸事情により開催日程の変更、中止の可能性があります。ご了承ください。

●お問い合わせ
泊村役場　〒045－0202　古宇郡泊村大字茅沼村字臼別191－7
TEL：0138－75－2877　FAX：0135－75－3168
E-mail：soumu-ki@vill.hokkaido-tomari.lg.jp
公式ホームページ：URL：http://www.vill.tomari.hokkaido.jp



新年おめでとうございます



よつ葉乳業株式会社
代表取締役社長 井出元郎
〒060-0004 札幌市中央区北四条西一丁目 北農ビル12階
代表電話 〇一一(二二二)一三一一

株式会社 オーテック
代表取締役社長 市原伸一
本社 〒一三五-〇〇一六 東京都江東区東陽二-四-二 新宮ビル三F
電話(〇三)三六九九-〇四一一
FAX(〇三)三六九九-〇四一六
https://www.o-tec.co.jp


届けよう、おいしいみらい。
proteinnovation ~たんぱく質のみらいを共に育む~

日本ハム株式会社
代表取締役社長
井川 伸久
〒530-0001
大阪市北区梅田二丁目4番9号
06-7525-3026

飯能ゴルフクラブ
名誉理事 弁護士 五十嵐 紀男
〒357-0013 埼玉県飯能市芦苅場495番地
TEL 042-972-3680~4 FAX 042-972-3685

山田・尾崎法律事務所
〒107-0052 港区赤坂7-5-7赤坂光陽ビル5F
TEL 03-3585-7451 FAX 03-3585-7452

スパークス・グループ株式会社
(コード 8739 東証プライム市場)
代表取締役社長
阿部 修平
〒108-0075
東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス6階
TEL (03)6711-9100

伊藤組土建株式会社
代表取締役社長 大谷正則
専務取締役 東京支店長 山平靖雄
〒060-8554 札幌本社 札幌市中央区北四条西四丁目一番地 電話 〇一一(二六一)六一一一
〒103-0006 東京支店 東京都中央区日本橋富沢町十番十六号 MYARK日本橋ビル 電話 〇三(五六九五)三六一一

戸田建設株式会社
代表取締役社長 大谷清介
本社 〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目七番一号 電話〇三-三五三五-一三五四

公益社団法人北海道倶楽部
理事長 大久保尚武
〒100-0014 東京都千代田区永田町二-十七-十七 永田町ほっかいどうスクエア1階
TEL 〇三(三五八一)四〇二一
FAX 〇三(三五八一)四〇二二

丸彦渡辺建設株式会社
代表取締役社長 鵜飼勇人
本社 札幌市豊平区豊平六条六丁目五番八号 電話 〇一一-八一一-八一二一
東京支店 東京都中央区日本橋小網町十一番十号 電話 〇三-五九三一-二二一一

岩田地崎建設株式会社
代表取締役社長 岩田圭剛
取締役常務執行役員 東京支店長 山崎智生
本社 北海道札幌市中央区北二条東十七丁目一番地 電話 〇一一(二二)二三二一(代表)
東京支店 東京都千代田区紀尾井町三番六号 紀尾井町パークビル 電話 〇三(六二六一)一五八一(代表)

株式会社 新栄リテンション
代表取締役 木内幸一
本社 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷二丁目14番13号 岡崎ビル607号室
電話〇三-三四〇〇-二三〇八

株式会社 日立製作所
名誉会長 川村隆
郵便番号一〇〇-八二八〇
東京都千代田区丸の内一丁目六番六号
TEL(〇三)三二五八-一一一一

太平ビルサービス株式会社
代表取締役会長 狩野伸弥
東京都新宿区西新宿六-二二-一 新宿スクエアタワー

サッポロホールディングス株式会社
名誉顧問 上條努
SAPPORO
〒150-8522 東京都渋谷区恵比寿四-二十-一

公益社団法人北海道倶楽部
理事 相談役 岡村進
〒100-0014 東京都千代田区永田町二-十七-十七 永田町ほっかいどうスクエア1階
TEL 〇三(三五八一)四〇二一
FAX 〇三(三五八一)四〇二二

札幌駅総合開発株式会社
代表取締役社長 島津勝一
〒060-0005 札幌市中央区北五条西2丁目5番地 JRタワーオフィスプラザさっぽろ9階
TEL (〇一一)二〇九-五〇五〇
FAX (〇一一)二〇九-五〇五一

雪印メグミルク株式会社
代表取締役社長 佐藤雅俊
〒065-0043 北海道札幌市東区苗穂町6-1-1
TEL 011-704-2311

古河電気工業株式会社
取締役会長 小林敬一
〒100-8322 東京都千代田区大手町二丁目六番四号 常盤橋タワー
電話 (〇三)六二八一-八五〇五
FAX (〇三)六二八一-八六五二

三ツ輪運輸株式会社
社長 栗林定正
釧路市錦町五丁目三番地

株式会社三ツ輪商会
社長 栗林延年
釧路市島取南五丁目十二番地五号

株式会社 栗林商会
代表取締役社長 栗林和徳
東京支店長 眞柳篤史
本社 北海道室蘭市入江町一-一九 〒051-0023
電話(〇一四三)二四-七〇一一(代)
東京支店 東京都千代田区丸の内三-四-一 〒100-0005 (新国際ビル二階二三〇区)
電話(〇三)三二一六-四〇二二(代表)
FAX(〇三)三二一六-〇〇八五

参議院国際問題に関する調査会長
参議院議員 鈴木宗男

無臭元工業株式会社
相談役 鈴木秀一
東京都足立区江北二-八-六
電話 〇三-三八九〇-九一五六

自由民主党広報本部長
衆議院議員
鈴木貴子

清水鋼鐵株式会社
代表取締役社長 清水孝
本社 〒279-0024 千葉県浦安市港五四番地
苫小牧製鋼所 苫小牧市字勇払一四五番地二四〇

北海道ワイン株式会社
代表取締役社長 嶌村公宏
〒047-0154 小樽市朝里川温泉一丁目一三〇
電話 (〇一三四)三四-二一八一
FAX (〇一三四)三四-二一八三
https://www.hokkaidowine.com

連帯する日本・北海道札幌委員会
北海道新樹会・元事務局長
富樫泰介
〒062-0921 札幌市豊平区中の島一条六-六-二二-一〇〇四
電話・FAX 〇一一-八二七-八七四一
携帯 〇九〇-一七九二-一〇〇一
Mail xlggm07937@yahoo.co.jp

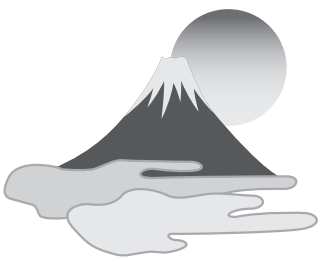
公認会計士・税理士
鐵川照夫
事務所 東京都北区赤羽台3-1-19 綿貫ビル2階
〒115-0053 TEL 03-3906-3363
FAX 03-3906-3200
E-mail:tetsukawa@pro.email.ne.jp

安心の医療環境を、未来につなぐ
taisho audit
代表取締役
千葉豊喜
株式会社大正オーディット
本社 〒158-0094 東京都世田谷区玉川2-21-1
二子玉川ライズ・オフィス7F
TEL 03-6805-6251 FAX 03-6805-6252
WEB www.taishoaudit.co.jp
支店 札幌/福岡/名古屋〈営〉

株式会社 メディカルシステムネットワーク
MEDICAL SYSTEM NETWORK GROUP
代表取締役社長
田尻稲雄
本社:〒060-0010
札幌市中央区北10条西24丁目3番地 AKKビル6階
TEL:011-612-1069 FAX:011-612-1068
URL https://www.msnw.co.jp 証券コード:4350

ホッカンホールディングス株式会社
取締役 常務執行役員 武田卓也
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町二丁目一番一号 日本橋三井タワー十三階
電話 〇三-五二〇三-二六八〇

新年おめでとうございます





ナラサキ産業株式会社
代表取締役 社長 中村 克久
〒103-8505 東京都中央区日本橋箱崎町十九番二一号
電話〇三(六七三二)七三五〇

株式会社 北海道新聞社
東京支社長 仲谷 正則
〒105-8435 東京都港区虎ノ門一―七―一二 虎ノ門ファーストガーデン 一二階
電話 〇三―六八一一―一八三〇

㈱日本ハウスホールディングス
日本ハウスHDグループCEO兼
代表取締役 会長兼社長 成田 和幸
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋四丁目三番八 日本ハウスHD飯田橋ビル
電話（〇三）五二一五―九九〇六
FAX（〇三）五二一五―九九一二

株式会社ニトリホールディングス
代表取締役 会長兼CEO 似鳥 昭雄
〒115-0043 〈東京本部〉東京都北区神谷三丁目六―二〇
TEL（〇三）六七四一―一三三五
FAX（〇三）六七四一―一二八一

本間 修
公益社団法人 北海道倶楽部 副理事長
〒100-0014 東京都千代田区永田町２-17-17
E-mail:hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp
http://www.hokkaido-c.or.jp

DG株式会社 代表取締役
〒100-6125 東京都千代田区永田町２-11-1
E-mail:dg.corp@jcom.home.ne.jp

オテル・ドゥ・ミクニ
オーナーシェフ 三國 清三
東京都新宿区若葉1-18

北海道ふるさと会連合会
会長 三井 照夫
〒100-0014 東京都千代田区永田町二―一七―一七 北海道東京事務所内
電話・FAX〇三(三五九二)〇二二二

公益財団法人 日本棋院 参与
永田 武彦
〒090-0033 北海道北見市番場町5－20
https://www.nihonkiin.or.jp/

株式会社 広報ブレイス
代表取締役社長 武藤 公明
専務取締役 榎本 朋子
専務取締役 山木 正博
常務取締役 宮下 博
〒175-0081 東京都板橋区新河岸一―七―七
TEL 〇三(三九三七)二九二一
FAX 〇三(三九三七)七一七七

株式会社 広報ブレイスプラス
代表取締役社長 宮下 博
〒175-0081 東京都板橋区新河岸一―七―七

岩倉建設株式会社
代表取締役 会長 宮﨑 英樹
本社 札幌市中央区南一条西七丁目一六番一
電話 〇一一―二八一―六〇〇〇
東京支社 東京都千代田区内神田二丁目三番三号 千代田トレードセンタービル
電話 〇三―三二五二―一九七六

「建物・人・生活に やすらぎと豊かさを生み出す」
東京美装ホールディングス株式会社
代表取締役 社長 八木 秀記
〒160-0023 東京都新宿区西新宿六―二四―一 西新宿三井ビルディング

弁護士法人 虎ノ門スクウェア法律事務所
代表社員弁護士 栁井 健夫
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-20-4 虎ノ門鈴木ビル4階
TEL 03-5408-1591
Takeo-Yanai@toranomon-square.com
https://www.toranomon-square.com/

株式会社 東洋実業
代表取締役 横田 正弘
本社 〒060-0006 札幌市中央区北六条西二十一―二一七 東実ビル
電話〇一一(六一二)一九二一(代表)
東京支店 〒163-0577 東京都新宿区西新宿一―二六―二 新宿野村ビル九階
電話〇三(三三四五)〇五三一(代表)

CHIZAKI
地崎道路株式会社
代表取締役 社長 横平 聡
〒108-0075 東京都港区港南二―一三―三一
電話 五四六〇―一〇三一

「北海道の市と町と村をご紹介」（Vol.7） WEB版発行しました。

北海道倶楽部会報「北海道NOW」2025年1月から12月に掲載された21市町村の紙面を再録したものです。

2025年掲載 21市町村

- **檜山振興局**
  乙部町、厚沢部町、奥尻町、今金町、せたな町
- **後志総合振興局**
  仁木町、島牧村、留寿都村、積丹町
  神恵内村、岩内町、古平町、赤井川村
  黒松内町、共和町、小樽市、蘭越町
  真狩村、余市町、ニセコ町、京極町

←ホームページからご覧ください。↓
http://www.hokkaido-c.or.jp/_jump/ 刊行物 / 刊行物 -2.html



公益社団法人北海道倶楽部役員

▽会長
川村 隆

▽評議員
生熊 康延　岡村 進
石出 伸一　笹原 晶博
石鍋 健太郎　安田 光春

▽副会長
小池 明夫

▽理事長
大久保 尚武

▽理事
惠本 司　香西 慧
大館 勇也　佐藤 雅俊
岡田 祥朋　武田 安弘
数納 壽　三國 清三
河瀬 和也　八尾 文二郎
栗林 宏吉
斉藤 雅彦
設楽 正敏
柴田 亮介
清水 孝
鈴木 一巳
瀬尾 暢宏
関 収

▽副理事長
有末 真哉
本間 修

▽副理事長兼常務理事
鈴木 秀一

▽理事、相談役
岡村 進

▽理事
阿部 修平
間瀬 雅晴

▽監事
澤野 正明
鐵川 照夫

▽評議員会副議長
千葉 豊喜
仲谷 正則

▽評議員会議長
上條 努

▽相談役
岡村 進
石出 伸一
笹原 晶博
安田 光春
今村 裕一
鵜飼 勇人
香西 慧
佐藤 雅俊
武田 安弘
三國 清三
八尾 文二郎
狩野 伸弥
佐々木 巖
山田 和彦

▽参与
狩野 伸弥
佐々木 巖
山田 和彦

▽顧問
今村 裕一
鵜飼 勇人

▽事務局
髙橋 一之
事務局長 武田 卓也
次長 立野 嘉之
西村 由紀子
中村 克久
北本 徹
似鳥 昭雄
野瀬 裕之
高橋 志保
羽二生 渉
松本 淳一郎
森田 正彦
八木 秀記
山崎 智生
山平 靖雄
横平 聡
渡辺 修
綿貫 泰之









北海道大学
創基 150 周年記念
特設ウェブサイト

北大フロンティア基金
（創基150周年記念募金）
ウェブサイト